

ガス給湯器

取扱説明書 保証書付

GQ-1637WEシリーズ
GQ-1638WEシリーズ
GQ-1037W
GQ-1038W

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意)	2
各部のなまえとはたらき(機器本体)	6
各部のなまえとはたらき(リモコン)	8
初めてお使いになるときは	10
使いかた	
(リモコンがある場合)	
リモコン操作音の消しかた、鳴らしかた ..	11
浴室から台所リモコンのブザーを鳴らす ..	11
お湯を出す/お湯の温度を調節する	12
お風呂のお湯はりをする	14
表示の節電を切り替える	16
(リモコンがない場合)	
お湯を出す/お湯の温度を調節する	17
凍結による破損を予防する	18
日常の点検・お手入れのしかた	20
故障・異常かな?と思ったら	22
アフターサービスについて	27
主な仕様	28
無料修理保証書	裏表紙

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

* この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。

* 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。

* この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

株式会社 ノーリツ

SAR8533③



SAR8533 T

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

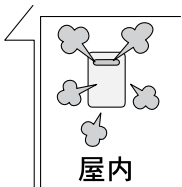
■ 危害・損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠危険

禁止 屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。



必ずおこなう

ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
メーターのガス栓も閉める
3. 販売店または、
もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する



火気禁止

ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。



⚠警告

高温注意

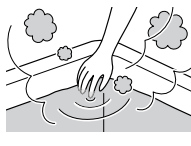
シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する

やけど予防のため。



入浴時も、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



(つづき)



異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める
2. 【リモコンがある場合】
運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、弊社窓口へ連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。



お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

分解禁止 思わぬ事故や故障の原因になります。



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。



**子供を浴室で遊ばせない
子供だけで入浴させない**

禁止 思わぬ事故の原因になります。



機器の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する

必ずおこなう 安全に使用していただくため。



灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

禁止 火災の原因になります。

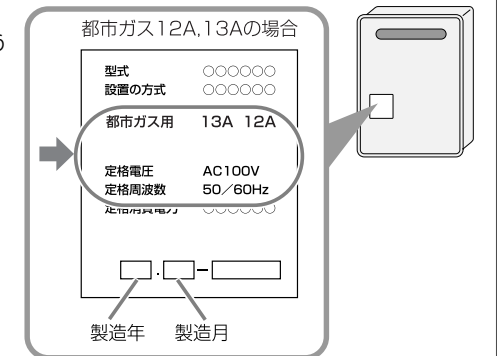


スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



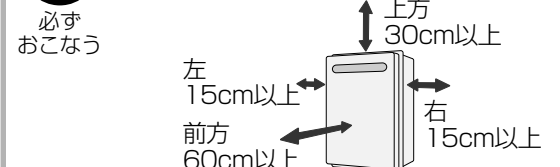
必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源を使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。



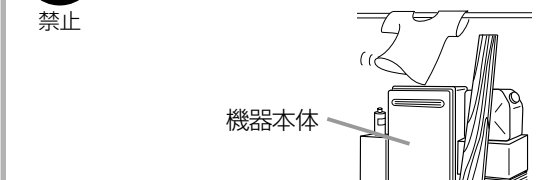
**燃えやすい物とは離す
(樹木、木材、箱など)**



火災予防のため。



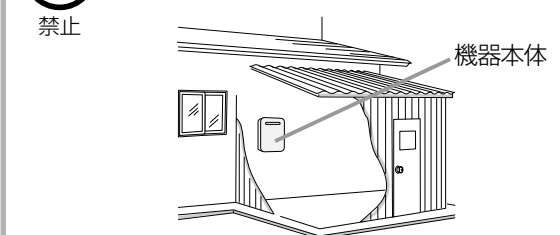
**燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)**



火災の原因になります。



**増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)**



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)-2

⚠️ 注意



必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。アースする
アースがされていない場合は、販売店または、弊社窓口にご相談ください。



電源プラグはぬれた手でさわらない

ぬれ手
禁止



感電注意

感電の原因になります。



電源プラグのほこりは定期的に取り

必ず
おこなう

ほこりがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

禁止

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工しない。

感電、ショート、火災の原因になります。



機器の点検・お手入れや、機器の水抜きをする場合は、運転スイッチ「切」または電源プラグを抜いて、機器が冷えてからおこなう

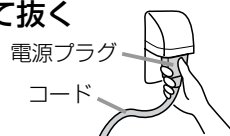
必ず
おこなう

やけど予防のため。
お湯の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

必ず
おこなう

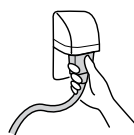


コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

必ず
おこなう



差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

禁止

思わぬ事故を予防するため。



使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない

接触禁止



やけど予防のため。



太陽熱温水器との接続注意

必ず
おこなう

太陽熱温水器との接続は可能ですが、高温のお湯が出るなど、やけど予防のため、混合水栓が付いていることを確認してください。

お願い



電源プラグ
を抜く

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計を合わせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。



ぬれ手
禁止



感電注意



ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)

(つづき)

機器や配管に長時間たった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。

業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置する 増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社窓口にご確認ください)

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合は保証期間内でも有料修理になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

凍結による破損を予防する(☞P18,19)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P19)

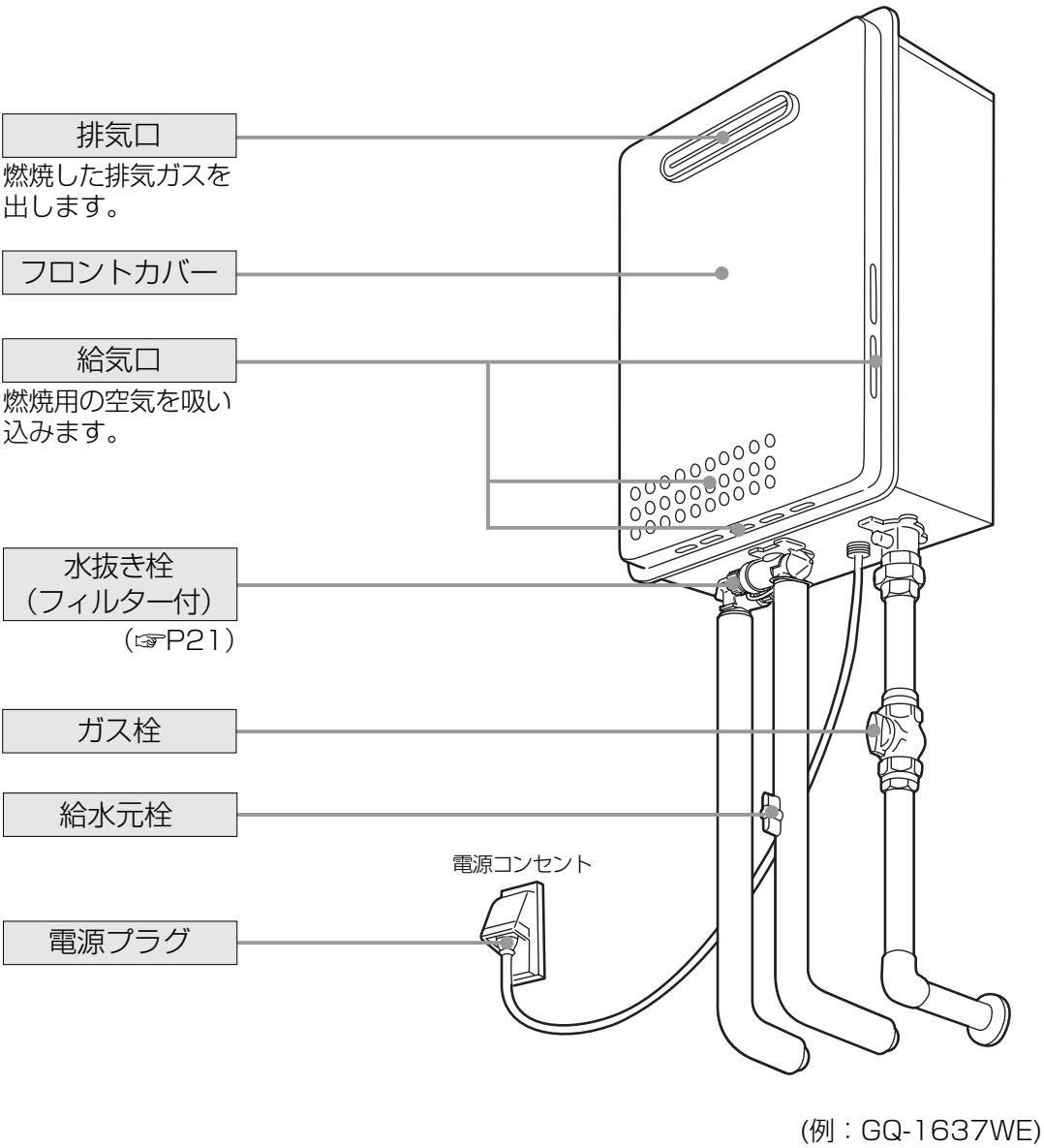
凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする

雪により給気口、排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

【屋外設置壁掛形】
 GQ-1637WE, GQ-1637WEO, GQ-1638WE, GQ-1037W, GQ-1038W
 ※GQ-1638WE, GQ-1038Wについては、排気口や給気口の位置など異なります。



※上のイラストは施工例です。
 配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

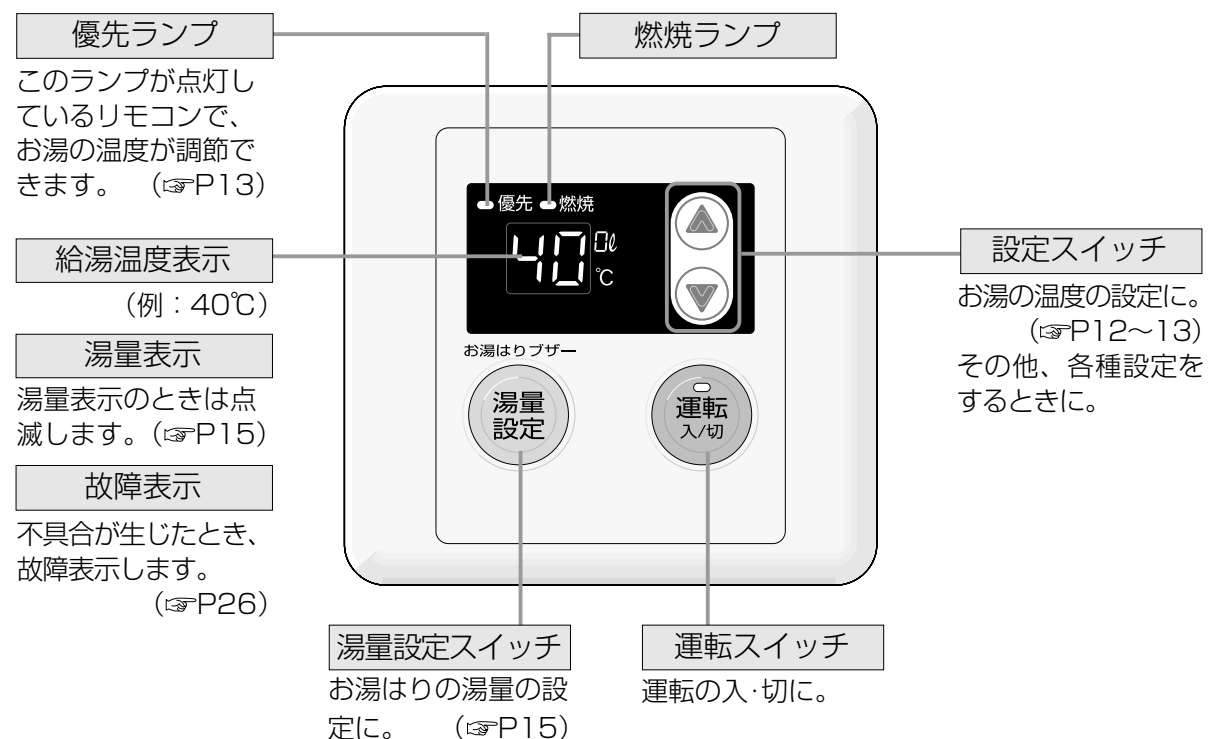
屋 外 設 置 形	PS設置前方排気形	PS設置後方排気形
	GQ-1637WE-C GQ-1637WE-T GQ-1638WE-T	GQ-1637WE-TB GQ-1638WE-TB

※GQ-1638WE-T, GQ-1638WE-TBについては、給気口の位置など異なります。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン(RC-7606M)＜別売品＞

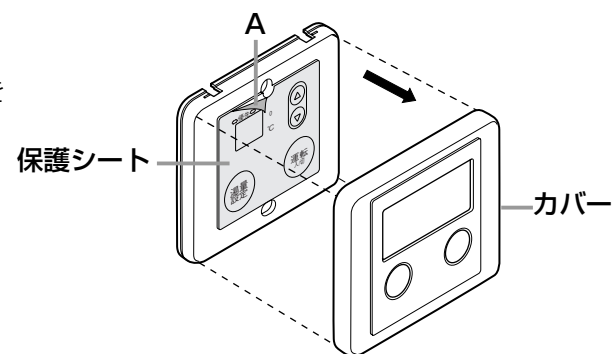
(台所などに取り付けます) 下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。実際の運転のときは、該当部分を表示します。



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

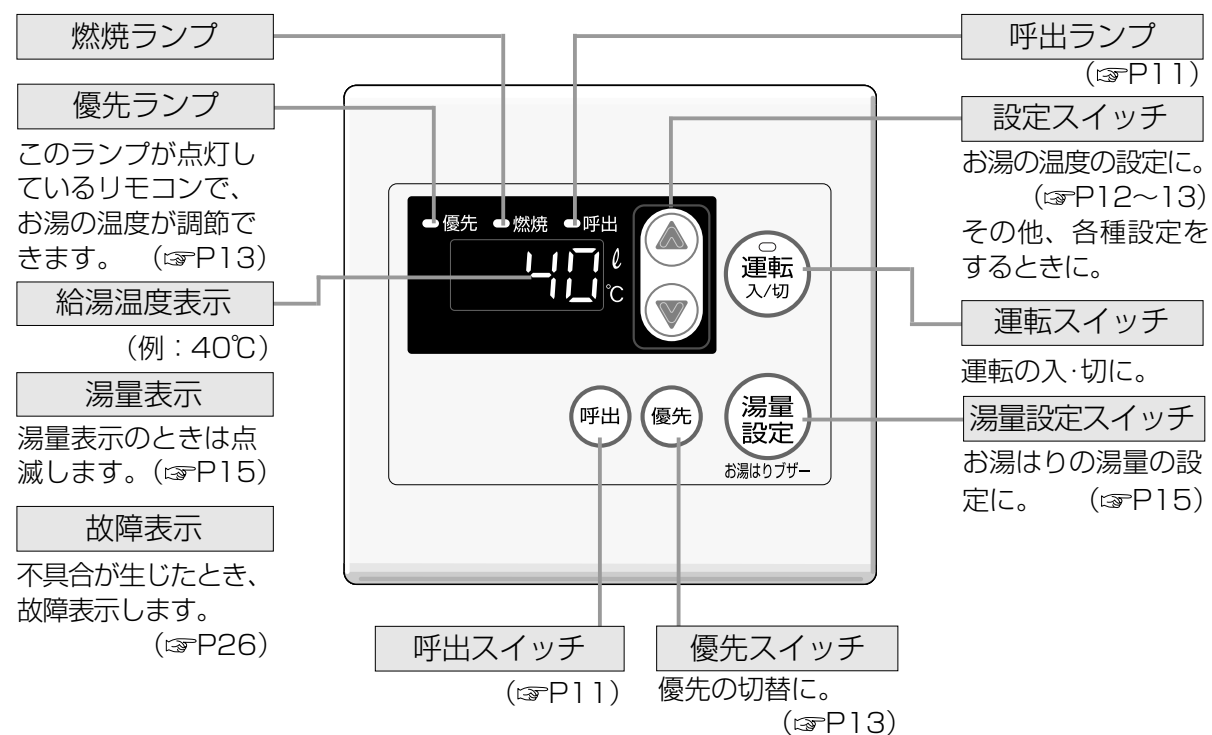
※リモコン表面の保護シートは取り外せます。
保護シートを外す場合は、下記の手順でおこなってください。
(保護シートは外してある場合もあります)

1. カバーを外す。
2. リモコンのプレート表面の保護シートを右図A部分よりはがして取り外す。
3. カバーを元どおり取り付け。



浴室リモコン(RC-7606S)＜別売品＞

(浴室に取り付けます) 下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。実際の運転のときは、該当部分を表示します。



※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

リモコンの無駄な電力消費を防ぐ ＜表示の節電＞

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

台所リモコン



使用しないまま
時間がたつと



※画面が消えても、運転は「入」の状態です。

浴室リモコン



使用しないまま
時間がたつと



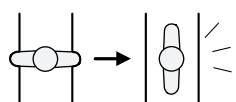
※再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
※給湯温度を60℃、75℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

初めてお使いになるときは

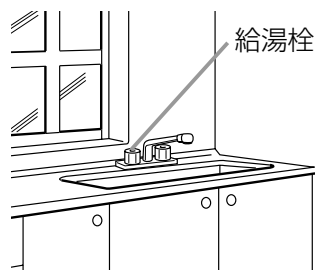
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4 の手順でおこなってください。

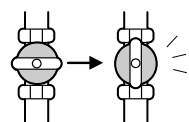
1 給水元栓を全開にする。



2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。



3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらない

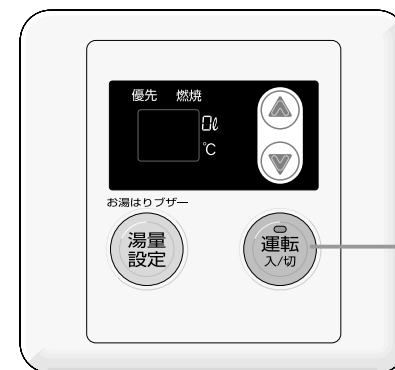
(例：GQ-1637WE)

使いかた(リモコンがある場合)

リモコン操作音の消しかた、鳴らしかた

各リモコンで個別に設定できますが、ここでは、台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)



リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という操作音が鳴ります。
お好みにより、この音を鳴らさないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
(初期設定(工場出荷時)=鳴らす設定)

運転スイッチを 約5秒間押す

リモコン操作音を
消す設定時

リモコン操作音を
鳴らす設定時



●呼び出し音とお湯はりブザーは、リモコン操作音を消しても鳴ります。

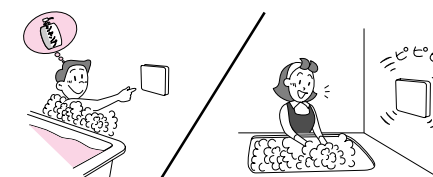
使いかた(リモコンがある場合)

浴室から台所リモコンのブザーを鳴らす (台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合)

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)



呼出スイッチを 押す



ブザーで呼び出します。
(呼出ランプ 点灯)

押し続けると、手をはなすまでブザーをくりかえします。

●呼出スイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。
●台所リモコンがない場合は、浴室リモコンでのみ呼び出し音が鳴ります。

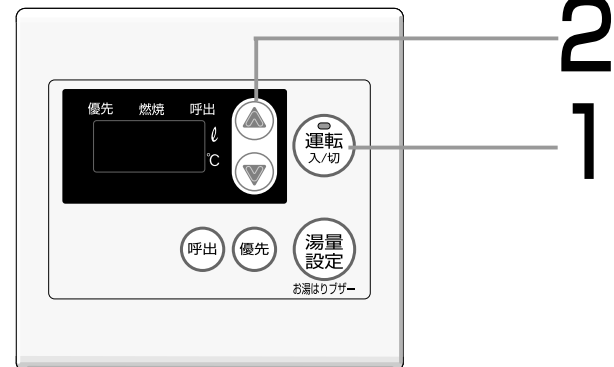
使いかた(リモコンがある場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する

(台所リモコン)



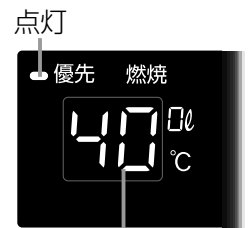
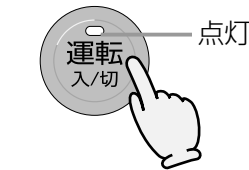
(浴室リモコン)



ここでは台所リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

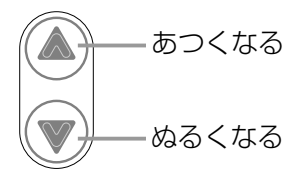
1 運転スイッチを「入」にする



前回に設定した給湯温度
(例: 40℃)

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



3 給湯栓を開ける



4 使用後は給湯栓を閉める



警告



やけど予防のために
高温注意

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手で
お湯の温度を確認してから使用してください。
- 60℃、75℃に設定したときは温度表示が点滅(約10秒)後、
点灯して高温が出ることをお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。
60℃、75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するとき
は特に注意してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変
更しないでください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り替
えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変
わります。



<台所リモコン表示画面>



約10秒間 点滅→点灯



お湯の温度の目安

(℃ : 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗い など			シャワー、給湯など						給湯など				高温

※初期設定(工場出荷時)=40℃

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお
湯の温度設定をご希望の温度より約10℃
高く設定すると、ちょうどよくなります。

いったん運転スイッチを「切」にし、再使
用する場合、前回の設定温度が75℃の
ときは、安全のため60℃になります。

温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<優先切替>

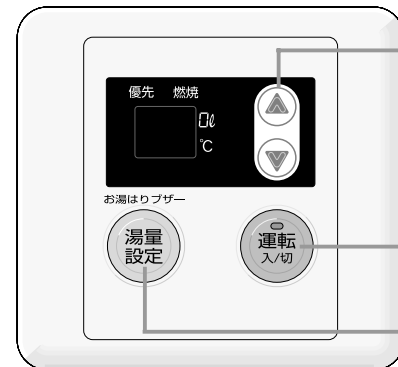
(設定温度は例です)

	湯温調節できない状態	優先切替する	湯温調節できる状態
浴室リモコン	点灯していない 優先 燃焼 呼出 40℃	優先スイッチを押す 優先	点灯 優先 燃焼 呼出 42℃
台所リモコン	点灯していない 優先 燃焼 42℃	運転スイッチを「切」(消灯)にして 消灯 再度「入」(点灯)にする 点灯 運転 入/切	点灯 優先 燃焼 40℃

※お湯はり中にこの操作をしないでください。

使いかた(リモコンがある場合) お風呂のお湯はりをする

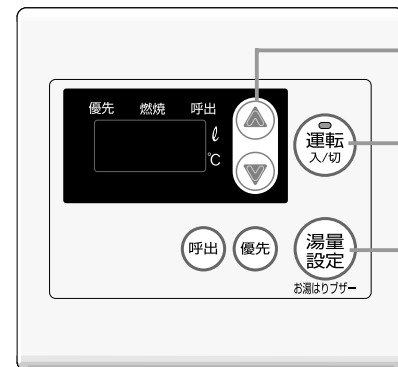
(台所リモコン)



2,3

1
3

(浴室リモコン)



2,3

1
3

ここでは台所リモコンでご説明します

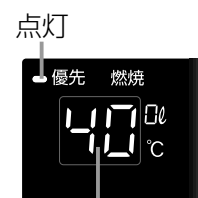
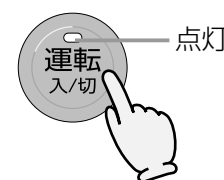
<運転スイッチ「切」のとき>

<一度設定すると記憶します>

運転前の準備

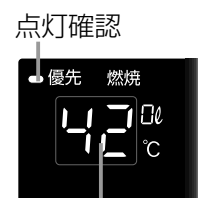
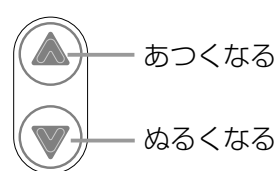
1. 浴槽の排水栓を閉める。
2. 浴槽のふたをする。
(お湯はり部分は開ける)

1 運転スイッチを「入」にする



お湯はり温度(例: 40℃)

2 設定スイッチで お湯はり温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



変更したお湯はり温度
(例: 42℃)



警告

優先ランプのついているリモコンの給湯温度でお湯はりします



高温注意

浴室リモコンでお湯はり温度を設定しても、お湯はり中に台所リモコン側に優先を切り替えると、お風呂も台所リモコンの給湯温度でお湯はりします。
台所リモコンで高温に設定している場合などは特に注意してください。

設定した湯量になったときに
リモコンのブザーが約10秒間
鳴ってお知らせします。



(お湯は自動的に止まりません)

初期設定(工場出荷時)は、180Lの設定です。

お湯はり温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの
条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ				ふつう					あつめ		

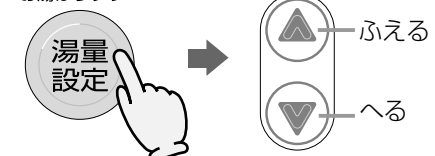
※初期設定(工場出荷時)=40℃

<一度設定すると記憶します>

3 設定スイッチで お湯はり湯量を調節する (変更しないときは湯量を確認する)

湯量設定スイッチを押し、湯量表示
が点滅している間に設定スイッチで
調節する。

お湯はりブザー



40~260(20Lきざみ)・300・
350・400・990Lの値で調節でき
ます。(目安の量)

⑨ 990Lの場合、ブザーは鳴りま
せん。



お湯はり湯量 点滅(例: 180L)

※10秒後、お湯はり温度表示に変わ
ります。



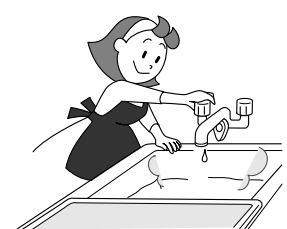
4 給湯栓を 開ける



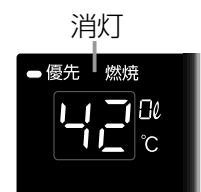
※サーモ付混合水栓の場合
は、水栓側の温度設定を
最も高温にしてください。

5 ブザーが鳴ったら 給湯栓を閉める

ブザー(ピッピ音)が鳴ったら
お湯を止めてください。



⑩ 990Lの場合、ブザーは
鳴りません。



- 台所リモコン・浴室リモコンのどちらが優先であっても、湯量の設定ができます。
- お湯はり中に台所・シャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定した湯量より多くなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- お湯はりをしていないでも、台所・シャワーなどで設定した湯量まで連続してお湯を使用すると、お湯はりブザーが鳴ります。

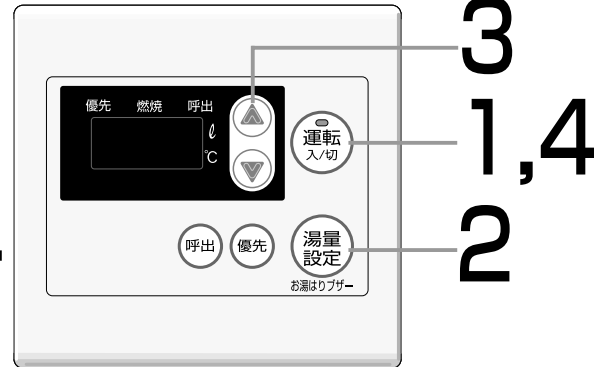
使いかた(リモコンがある場合)

表示の節電を切り替える

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



表示の節電「する／しない」を各リモコンで個別に設定することができます。

表示の節電とは・・・

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。(運転ランプのみ点灯)
再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
※給湯温度を60℃、75℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。
※初期設定(工場出荷時)=する

ここでは台所リモコンでご説明します

1 運転スイッチを「切」にする



2 湯量設定スイッチを約2秒間押す



3 設定スイッチで変更する

	台所リモコン	浴室リモコン
表示の節電 する		
表示の節電 しない		

運転スイッチ「入」の状態ならば、画面表示は消えません。

4 設定が完了すれば運転スイッチを押すまたは30秒放置する

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。



使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくと運転スイッチ「切」の状態に戻ります。

使いかた(リモコンがない場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する

お湯の温度は、約60℃の高温(固定)になります。混合水栓でお湯と水を混合してお使いください。

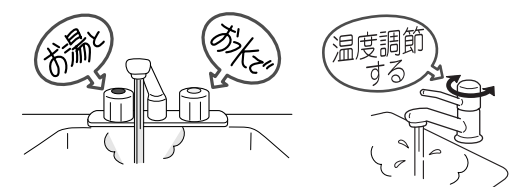
1 電源プラグを電源コンセントに差し込んでいるか確認する



2 給湯栓を開ける



3 お湯の温度を調節する



4 使用後は給湯栓を閉める



通常電源プラグは差し込んだままで、抜く必要はありません。

警告

やけど予防のために



シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。



凍結による破損を予防する

お願い

*暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。

*凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

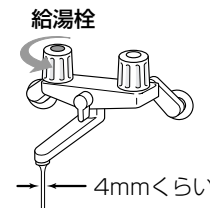
機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します(GQ-1637WE0は除く)

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない。
(<リモコンがある場合>運転スイッチ「入・切」に関係なく凍結予防します)

*給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。
(わからないときは、販売店に確認してください)

■低温注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しいときは、以下の処置をする。<リモコンがある場合のみ>機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・太さ約4mm)を流したままにしておく。
※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 念のため、約30分後に再度流れる量を確認する。



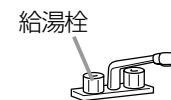
*サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため。

<リモコンがある場合>凍結してお湯(水)が出ないとき

■運転スイッチを「切」にする。
気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試ください。

1. 運転スイッチを「切」にし、台所などの給湯栓を少し開けておく。
2. ガス栓を閉める。
3. 給水元栓を回してみる(閉めてみる)。

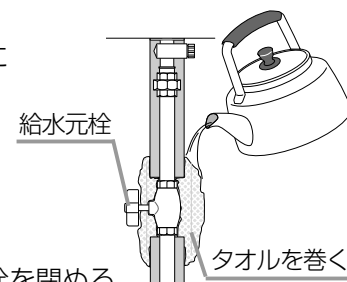


給水元栓が凍結して回らない場合

- 1) タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- 2) 人肌程度(30~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意

- *熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- *機器の電源プラグ・コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。
- *ガス栓とまちがえないように注意してください。



- 3) 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- 4) タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- 5) 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。
(わからないときは、販売店に確認してください)

給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

※給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

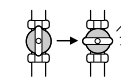
注意



お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が約700cc出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

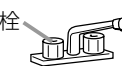
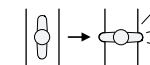
- 1 ガス栓を閉める。
- 2 <リモコンがある場合>運転スイッチを「切」にする。
<リモコンがない場合>いずれかの給湯栓を全開にする。



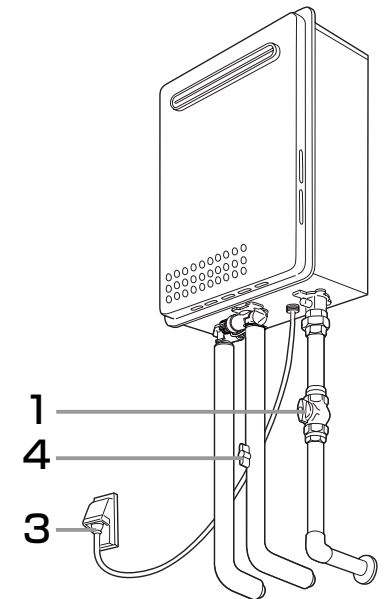
- 3 <リモコンがある場合>電源プラグを抜く。
<リモコンがない場合>2の操作より20秒以上経過後、電源プラグを抜く。

ぬれた手でさわらない

- 4 給水元栓を閉める。
- 5 すべての給湯栓を全開にする。



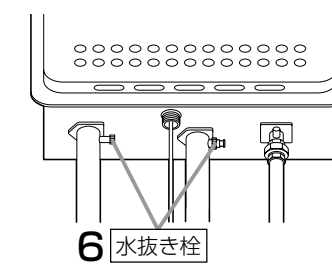
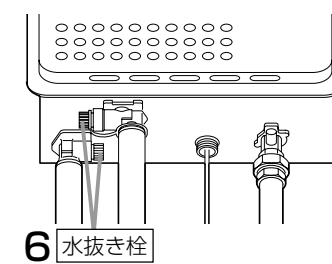
- 6 水抜き栓(2ヶ所)を左に回して取り外す。



配管の位置(水抜き栓の位置)は2通りあります

<GQ-1637WEシリーズ,GQ-1037Wの場合>

<GQ-1638WEシリーズ,GQ-1038Wの場合>



- 7 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓(2ヶ所)、およびすべての給湯栓を閉める。

再使用のとき

1. 水抜き栓(2ヶ所)が閉まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. P10「初めてお使いになるときは」の手順1~4に従ってください。

日常の点検・お手入れのしかた

⚠ 注意



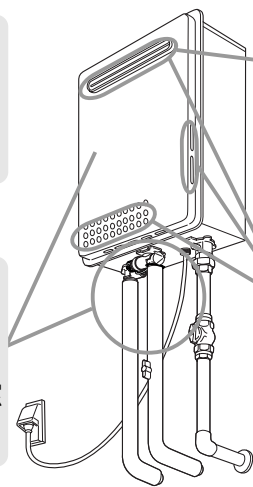
高温注意

点検・お手入れは、運転スイッチ「切」にするか、電源プラグを抜いておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

点 検（定期的）

チェック 機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすい物を置いていないか？
➡ 燃えやすい物を置かない。

チェック *機器の外観に異常な変色や傷はないか？
*運転中に機器から異常音が聞こえないか？
*機器・配管から水漏れはないか？
➡ 現象があった場合は、販売店または、弊社窓口へご連絡ください。



(例：GQ-1637WE)

チェック 排気口にスがついていないか？
➡ ついていたら、販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

チェック 排気口・給気口がほこりなどでふさがっていないか？
➡ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ（定期的）

機 器 本 体

- 機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
- 海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、機器に潮風が当たり、機器本体および配管接続部にさびが発生する場合があります。
さびがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

リ モ コ ン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

- リモコンの掃除にはベンジンや塩素系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません)

お手入れ（定期的）

水抜き栓(フィルター付) GQ-1637・1037シリーズのみ

水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

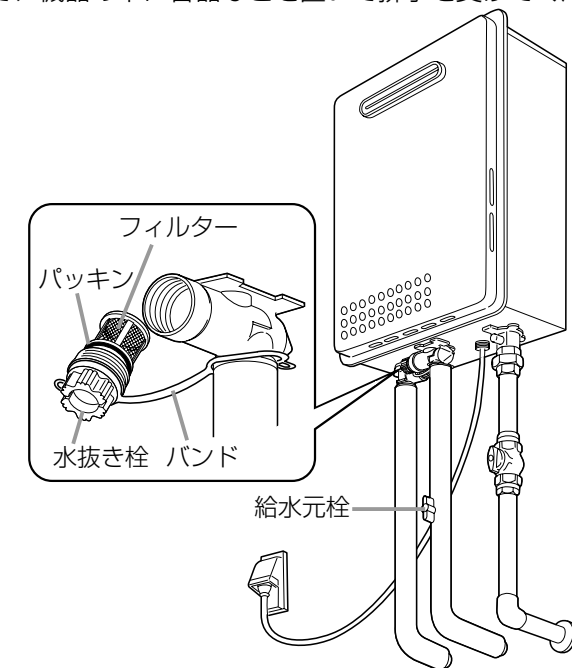
※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転スイッチを「切」にするか、または電源プラグを抜いて、機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

※水抜き栓などからお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓を外す。(※1)
4. 配管とつながっているバンドから外す。
5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(※2)
6. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

(※1)このとき水(湯)が出るので注意してください。

(※2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。



(例：GQ-1637WE)

- GQ-1638・1038シリーズは、給水接続口内部にフィルターがあるため、お客さまでのお手入れはできません。販売店にご相談ください。

＜定期点検のすすめ(有料)＞

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯(水)が出ない	* ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓は充分開いていますか？ * ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ * LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？(コンロなど他のガス器具が使用できますか？) * 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？(☞P21) * 凍結していませんか？ * (リモコンがある場合)運転スイッチは「切」になっていませんか？ * 電源プラグが抜けていませんか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	* 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	* ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * (リモコンがある場合)給湯温度設定は適切ですか？(☞P12,13) * 水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 * 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 * 太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。
高温のお湯が出ない	* ガス栓が全開になっていますか？ * (リモコンがある場合)給湯温度設定は適切ですか？(☞P12,13) * 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
給湯栓を絞ると水になった	* 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
(リモコンがある場合)給湯温度の調節ができない	* 操作しているリモコンの優先ランプは点灯していますか？(☞P13)
設定したお湯はり温度にならない	* 前日など残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	* お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 * 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。 * お湯の温度を安定させるため、お湯の出初めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
お湯はりの量が設定した湯量にならない	* お湯はり中に台所・シャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。 * 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
設定量までお湯はりしてもお湯はりブザーが鳴らない	* お湯はりブザーは、給湯器で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでブザーが鳴ります。

故障・異常かな？と思ったら-2

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	* 停電していませんか？ * 電源プラグが差し込まれていますか？
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	* 停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	* 機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。(表示の節電)(P16) 再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない など…	<呼出スイッチ以外のスイッチの場合> * 表示の節電中にスイッチを1回押すと、表示の節電を解除し、もう1度押すとそのスイッチの機能がはたらきます。運転「入・切」は、ランプ「点灯・消灯」で確認してください。
表示の節電の状態にならない	* 表示の節電「する」の設定になっていますか？(P16) * 給湯温度を60℃、75℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。

「音」に関すること

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする 運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくすると、モータが動く音(クックッ、クー)がする	* 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
--	--

その他

使用中に消火した	* ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓は充分開いていますか？ * ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ * LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？(コンロなど他のガス器具が使用できますか？)
寒い日に排気口から湯気が出る	* 冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	* 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
機器の給湯側の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	* 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴がおちることがあります。
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	* 浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが、健康上問題ありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障・異常かな？と思ったら-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示と運転スイッチのランプが点滅してお知らせします。下表に応じた処置をしてください。

例：《01》を表示したとき、下図のような点滅をくりかえします。

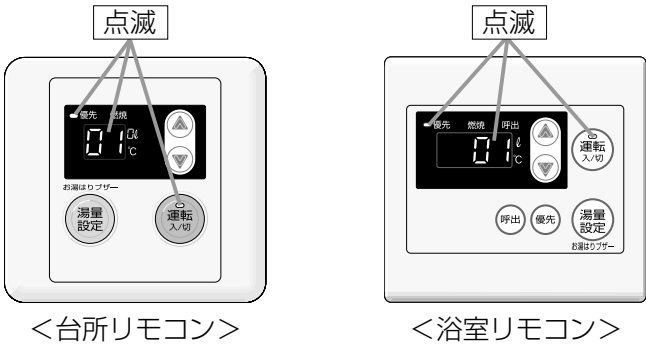


表 示	原 因	処 置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していないか、またはLPガスがなくなっていないか(コンロなど他のガス器具が使用できるか)を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。

以下の場合、販売店または、弊社窓口にご連絡ください

- ・上記以外の表示（例：E1 など）が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
- ・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P22～26の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型式名 ……………（銘板の「型式」をご覧ください）
※銘板の貼付位置はP31参照
- お買い上げ日 ……（保証書をご覧ください）
- 異常の状況 ……（故障表示など、できるだけ詳しく）
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日



※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください。）

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年(BL品は10年)です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、弊社窓口にご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

その他

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
(財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様-1

仕 様 表

16号				
型 式 名	GQ-1637WE	GQ-1637WE-C	GQ-1637WE-T	GQ-1637WE-TB
種 給 湯 方 式	先止め式			
類 設 置 方 式	屋外設置形			
点 火 方 式	放電点火式			
水 使用水压(MPa)	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm ²)＜推奨水压約0.15～0.5(約1.5～5.0kgf/cm ²)＞			
圧 作 動 水 圧(kPa)	15(0.15kgf/cm ²)			
最低作動流量(L/分)	3.5			
外 形 寸 法 (mm)	高さ520× 幅350× 奥行170			
質 量 (本 体) (kg)	13.5	14	13.5	14
接 給 湯	R1/2またはR3/4(製品により異なります)			
続 給 水	R1/2またはR3/4(製品により異なります)			
口 給 水	R1/2			
径 ガ ス	R1/2			
電 電 源	AC100V (50/60Hz)			
電 消 費 電 力	33/33	45/45	35/35	45/45
気 (50/60Hz)＜W＞	凍結予防ヒーター 131			
関 待機時消費電力	運転スイッチ「入」 約4.0W (省電力モード)、「切」 約3.0W <台所リモコン取付>			
係 湯 温 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式			
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置			

16号			
型 式 名	GQ-1638WE	GQ-1638WE-T	GQ-1638WE-TB
種 給 湯 方 式	先止め式		
類 設 置 方 式	屋外設置形		
点 火 方 式	放電点火式		
水 使用水压(MPa)	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm ²)＜推奨水压約0.15～0.5(約1.5～5.0kgf/cm ²)＞		
圧 作 動 水 圧(kPa)	15(0.15kgf/cm ²)		
最低作動流量(L/分)	3.5		
外 形 寸 法 (mm)	高さ600× 幅350× 奥行130	高さ600× 幅350× 奥行170	
質 量 (本 体) (kg)	13	17	
接 給 湯 続 給 水 口 給 水 径 ガ ス	R1/2またはR3/4(製品により異なります)		
	R1/2またはR3/4(製品により異なります)		
	R3/4		
電 電 源	AC100V(50/60Hz)		
電 消 費 電 力 気 (50/60Hz)＜W＞ 関 待機時消費電力 係 湯 温 制 御 方 式	49/49	56/56(都市ガス6A,L1.5C,L2), 54/54(都市ガスL3)	
	凍結予防ヒーター 131	凍結予防ヒーター 147	
	運転スイッチ「入」 約5.0W (省電力モード)、「切」 約5.0W <台所リモコン取付>		
湯 温 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式		
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

- ・ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・ 出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水压、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

16号		
型 式 名	GQ-1637WEO	
種 給 湯 方 式	先止め式	
類 設 置 方 式	屋外設置形	
点 火 方 式	放電点火式	
水 使用水压(MPa)	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm ²)＜推奨水压約0.15～0.5(約1.5～5.0kgf/cm ²)＞	
圧 作 動 水 圧(kPa)	10(0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量(L/分)	3.5	
外 形 寸 法 (mm)	高さ520× 幅350× 奥行170	
質 量 (本 体) (kg)	13.5	
接 給 湯	R1/2またはR3/4(製品により異なります)	
続 給 水	R1/2またはR3/4(製品により異なります)	
口 給 水	R1/2	
径 ガ ス	R1/2	
電 電 源	AC100V (50/60Hz)	
電 消 費 電 力	33/33	
気 (50/60Hz)＜W＞		
関 待機時消費電力	運転スイッチ「入」 約4.0W (省電力モード)、「切」 約3.0W <台所リモコン取付>	
係 湯 温 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式	
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置	

10号		
型 式 名	GQ-1037W	GQ-1038W
種 給 湯 方 式	先止め式	
類 設 置 方 式	屋外設置形	
点 火 方 式	放電点火式	
水 使用水压(MPa)	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm ²)＜推奨水压約0.15～0.5(約1.5～5.0kgf/cm ²)＞	
圧 作 動 水 圧(kPa)	15(0.15kgf/cm ²)	
最低作動流量(L/分)	3.5	
外 形 寸 法 (mm)	高さ520× 幅350× 奥行170	高さ600× 幅350× 奥行130
質 量 (本 体) (kg)	13.5	13
接 給 湯	R1/2	
続 給 水	R1/2	
口 給 水	R1/2	
径 ガ ス	R1/2	
電 電 源	AC100V (50/60Hz)	
電 消 費 電 力	26/26	32/32
気 (50/60Hz)＜W＞	凍結予防ヒーター 131	
関 待機時消費電力	GQ-1037Wの場合 …… 運転スイッチ「入」約4.0W(省電力モード)、「切」約3.0W <台所リモコン取付> GQ-1038Wの場合 …… 運転スイッチ「入」約5.0W(省電力モード)、「切」約5.0W <台所リモコン取付>	
係 湯 温 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式	
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置	

主な仕様-2

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。
- ・型式によっては、該当しないガス種もあります。

能力表

16号	型式名	GQ-1637WE, GQ-1638WE, GQ-1637WEO		
使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) 〈kW〉	出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用	13A	33.4	16	10
	12A	31.1	15	9.5
	6A	34.9	16	10
	L1(6B,6C,7C)	34.9	16	10
	5C	34.9	16	10
	L2(5A,5AN,5B)	34.9	16	10
	L3(4A,4B,4C)	32.6	15	9.5
LPガス用		33.4	16	10

16号	型式名	GQ-1637WE-C, GQ-1637WE-T, GQ-1638WE-T, GQ-1637WE-TB, GQ-1638WE-TB		
使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) 〈kW〉	出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用	13A	33.4	16	10
	12A	31.1	15	9.5
	6A	34.9	16	10
	L1(6B,6C,7C)	34.9	16	10
	5C	34.9	16	10
	L2(5A,5AN,5B)	34.9	16	10
	L3(4A,4B,4C)	34.9	16	10
LPガス用		33.4	16	10

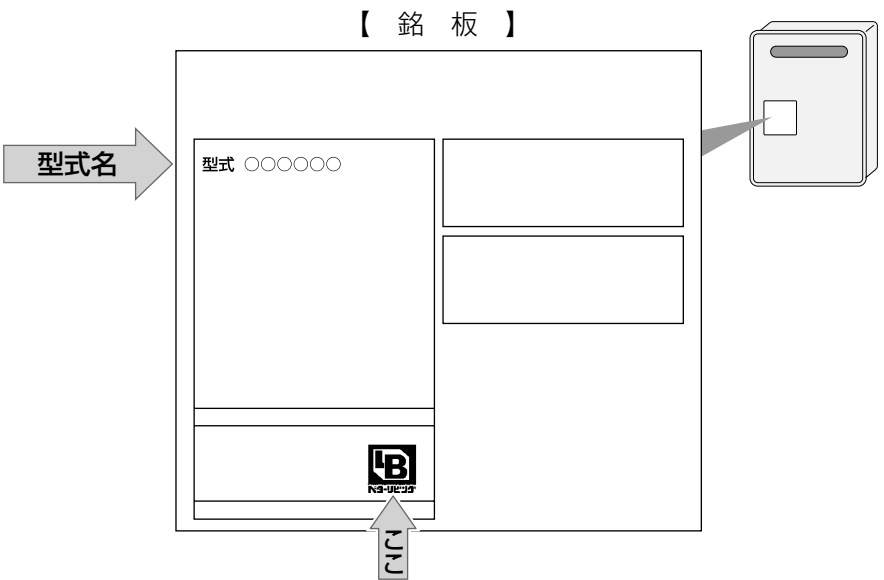
10号	型式名	GQ-1037W, GQ-1038W		
使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) 〈kW〉	出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用	13A	21.1	10	6.5
	12A	19.4	9.5	6
	6A	22.1	10	6.5
	L1(6B,6C,7C)	22.1	10	6.5
	5C	22.1	10	6.5
	L2(5A,5AN,5B)	22.1	10	6.5
	L3(4A,4B,4C)	22.1	10	6.5
LPガス用		21.1	10	6.5

BL認定品と型式名の確認のしかた

※BL認定品には、機器正面に貼り付けてある銘板にBLマーク



を表示しています。



無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にて修理をご依頼ください。

お客さま	ご芳名		様	型式名	GQ-1637WE
	ご住所				GQ-1637WE-C
販売店	店名	扱 者 印		GQ-1637WE-T	
	住所			GQ-1637WE-TB	
	電話番号			GQ-1637WEO	
お買い上げ日		平成 年 月 日		GQ-1037W	
					GQ-1638WE
					GQ-1638WE-T
					GQ-1638WE-TB
					GQ-1038W

＜保証対象部分・保証期間＞

1. 保証対象部分：機器本体（リモコン含む）
2. 保証期間：お買い上げ日より1年間（BL認定品は2年間）。但し、下記部品については別途以下の年数を保証いたします。
熱交換器・機器本体内の電装基板・・・5年間
※BL認定品についてはこの保証書の裏をご覧ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社窓口が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (2) お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - (3) 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - (4) 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - (5) 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - (6) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - (7) 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - (8) 業務用（喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等）でご使用になった場合。
 - (9) 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源（電圧・周波数）でご使用になった場合。
 - (10) 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
 - (11) 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
 - (12) 本書のご提示がない場合。
 - (13) 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証責任者 株式会社ノーリツ 神戸市中央区江戸町93番地

■お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
2. 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理・点検・商品についての
お問い合わせは・・・

株式会社ノーリツ
コンタクトセンター

電話料金無料

0120-911-026

携帯電話からのお問い合わせは・・・ 0570-064-910（通話料がかかります）

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって番号をお選びください。

① 修理の受付・故障に関するお問い合わせ

■修理受付センター

365日24時間 修理受付
※修理訪問は日中、地域により休日有り
FAX (東日本) 03-5327-5039
FAX (西日本) 078-928-4831

② 点検・所有者情報に関するお問い合わせ

■あんしん点検センター

【受付時間】（平日）9：00～17：30

③ 商品に関するお問い合わせ・その他

■お客さま相談センター

【受付時間】※年末年始を除く
〈平日・土曜日〉 9：00～19：00
〈祝日・日曜日〉 10：00～18：00
FAX 078-921-5656

個人情報の

取り扱いについて

■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。なお、個人を特定できない情報に加工し、ノーリツグループのサービス向上や製品開発等に利用させていただきます。■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。(1) 修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合(2) 機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合(3) 法令等にもとづく場合 ■お客さまご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止等に関しては、弊社総務部 個人情報担当(TEL 078-391-3361 受付時間/平日9:00～17:00)にご連絡願います。

(090310)

= お客さまへ =

機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」(有料)のおすすめ

お買い上げいただきました製品は、長期間ご使用いただくと、経年劣化によって安全上支障が生じお客さまに危害を及ぼすおそれがあります。

本製品は、使用期間の目安として「設計上の標準使用期間」を設けています。「設計上の標準使用期間」を超えてのご使用は、経年劣化による事故発生の危険度が高くなりますので、継続して使用される場合は、安全確保のために「あんしん点検」(有料)を受けてください。

「設計上の標準使用期間」については、P2をご覧ください。

あんしん点検について

あんしん点検は、ノーリツまたはノーリツが委託した事業者が行います。

【あんしん点検の内容について】

- ・あんしん点検は、お客さまの任意で受検していただく有料の点検です。
- ・点検基準は、消費生活用製品安全法省令に定められた法定点検の基準を参考に、当社で設定しています。
- ・あんしん点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)を行って使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。
※製品の修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、取扱説明書をご覧ください。
- ・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。

【あんしん点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、あんしん点検の料金設定の基準やサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.noritz.co.jp/contact/hosyu/>

本製品の点検等に関するお問合せ先

株式会社ノーリツ コンタクトセンター Tel : 0120-911-026



設計上の標準使用期間について

本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しております。

設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです。

「無料修理保証期間」とは異なるのでご注意ください。(無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います)

<設計上の標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計上の標準使用期間は、次のように設定しています。

1) 始期・・・製造年月

2) 終期・・・JIS S 2071 および 日本ガス石油機器工業会規格JGKAS C 301 の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等を行い、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件(給湯)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 出湯温度	40℃
7. 1日使用量	456リットル
8. 1日使用時間	1時間
9. 1年使用日数	365日

■使用条件(ふろ)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 沸き上がり温度	40℃
7. 入浴回数	毎日
8. 沸き上がり回数	1回/1日
9. 追いだき回数	2回/1日
10. 浴槽水量	180リットル

<ご注意ください>

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計上の標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、P1「本製品の点検等に関するお問合せ先」にご連絡ください。

お客さま情報の登録について

製品安全に関する情報や点検に関する情報を提供させていただくために、お客さま情報を登録されることをおすすめします。

同梱の所有者票の返信もしくはインターネットにて、お客さま情報の登録ができます。ご登録いただいたお客さま情報は、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、任意点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

インターネットでの登録は、下記のアドレスへアクセスしてください。

<https://reg.noritz.co.jp/nr/>